

令和5年度第3回島根県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1. 日時

令和5年10月27日（金） 14:00～16:00

2. 場所

島根県職員会館 教養室4

3. 出席者

(委員)

服部委員長、池田委員、今井委員、吉川委員、宮崎委員

(公立大学法人島根県立大学)

山下理事長・学長、新田副理事長、林学長代行、石橋副学長、八川事務局長、栗山事務局次長、荒本出雲C事務部長、田中松江C事務部長、福間企画調整課長

(事務局)

岡本総務課長、井上私学・県立大学室長、江角課長補佐、奥田主任主事

4. 議事

(1) 公立大学法人島根県立大学第4期中期目標策定の進め方について

(2) 公立大学法人島根県立大学第4期中期目標骨子案について

5. 会議の概要

(1) 会議公開・非公開の決定

島根県情報公開条例第7条第5号及び第34条の規定により、非公開が相当との事務局発言があり、委員に諮られたところ了承された。

(2) 議事

① 公立大学法人島根県立大学第4期中期目標策定の進め方について

・ 事務局から、資料1により第4期中期目標策定の進め方について説明があった。

② 公立大学法人島根県立大学第4期中期目標骨子案について

・ 事務局から、資料2-1、2-2により第4期中期目標骨子案の説明があった。

<意見等>

- ・ 基本項目に、SDGsの取組についても盛り込んでどうか。また具体的にSDGsの取組みを表現できないか。
- ・ カリキュラムポリシーについて各キャンパスが独自の教育実践を行うということであれば、この書きぶりでもよいが、大学共通のカリキュラムポリシーを明確に記載する必要があるのではないか。
- ・ 持続可能性、国際情勢やエネルギー課題への対応が示されており、昨今の社会情勢を踏まえた変化を、大学教育の中にどう取り込むのか、検討が必要では。
- ・ 国際関係学部について、学部の魅力や、学内における学部の位置づけが分かり

にくい。魅力を明確化し、しっかりと広報、宣伝ができるとよい。

- 18歳人口減少という新たな課題も出ているので、それも視野に入れた入試制度改革が必要であると思う。
- 学生の共感を生む情報の発信ができれば、県立大学の魅力や特徴について理解を促し、入学者の受け入れにもつながるのではないか。